

2020.6.16

“恩田川に沿って芹が谷公園まで歩く” 参加9名 クラブはんどれっど・歴史散策

梅雨入りのことを栗花落（ついで）、この季節に咲く花に栗の花があります。しとしと降る雨のなか、栗の花が咲き散ることから、この字をあてたそうです。季節を求め、恩田川のせせらぎに耳を傾けながら、カルガモの親子やカワセミの姿を期待したのですが、残念でした。でも、小高い台地・成瀬城跡の樹の上に、タカのなかまの“ツミ”の姿を見つけ、子孫をつなぐ生き物の逞しさを感じました。

三密に気を配りながらの久しぶりの昼食、コロナや身の回りのことなど、時の経つのも忘れ、話のネタは尽きませんでした、11km\*4時間歩く。 (文；細見)



1



2



3

1：恩田川、高瀬橋付近を歩く。

2：芹が谷公園に新しくできた、緑の  
空中遊歩道はきもちいい。

3；アウトドアの語らいは、居心地良く、白  
熱し、時の経つのも忘れる。